

長崎県保険医協会
会長 本田孝也 様

拝啓

盛夏の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素はNHKの放送に対して格別のご高配を賜り、心から感謝いたしております。

さて、本日NHK長崎放送局制作の番組「もういちど“長崎の原爆”をみつめる『焼き場に立つ少年』をさがして」に対する意見書を頂戴いたしました。まず、今回の番組制作におきましては、多忙にも関わらず様々な資料提供、関係者の方々のご紹介、そして取材活動への帯同までしていただき、改めて心より感謝申し上げます。また、NHK長崎放送局が制作した番組を丁寧にご視聴いただき、またそれに対する改善のご意見を賜り、ありがとうございました。

にも関わらず、番組内容について本田様にご不満ご不快の念を生じさせてしまいましたことは、誠に残念でなりません。

ただ、私どもとしましては、今回の番組制作におきまして、被爆者である村岡正則さんをはじめ、村岡さんの調査に協力している方々、各分野の専門家の方々詳しく取材をさせていただき、「焼き場に立つ少年」に関する見解は諸説あることを踏まえた上で、断定できることと断定できないことを峻別しながら番組構成の検討、ナレーションの検討を行いました。番組ではこの点に誤解が生じないように細心の注意を払って説明しております。また吉岡栄二郎氏の著書『『焼き場に立つ少年』は何処へ』については、番組冒頭でこうした先行研究があることをきちんとして明示しております。こうした点を何卒ご理解いただければ幸いです。

その一方で、本田様ご指摘の通り、一点番組内のテロップに聞き違いによる間違いがあることが判明したため、再放送する前に速やかに修正させていただきました。今後はこのような形で放送いたします。ご指摘ありがとうございました。

今後は、今回ご指摘された点も踏まえながら、「焼き場に立つ少年」に関して取材を継続してまいります。本田様にも引き続きご意見ご協力をいただければ幸いです。多くの視聴者の方々に、この写真を通じて長崎の原爆・戦争の悲惨さについて理解を深めていただけるような番組制作を進めて参る所存でございますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。

末筆ながら本田様の一層のご発展をお祈り申し上げます。
まずは略儀ながら書中にてお知らせいたします。

敬具

2019年8月7日
NHK長崎放送局 局長

遠藤理史